

新NACSIS-CAT/ILLと それを取り巻く状況について



国立情報学研究所
学術基盤推進部 学術コンテンツ課学術コンテンツ整備チーム

村上 遥

検討の経緯と移行方針

新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止

電子リソースデータ共有サービス

ユーザーグループとこれからの課題



学術情報を取り巻く環境の変化

電子ジャーナルをはじめとした電子情報資源の普及による資料の流通・管理のあり方の変貌、研究者、学生の情報利用や研究・教育のプロセスが電子的手段を前提とするものになっていることへの対応

これからの学術情報システム構築検討委員会の検討

電子情報資源・印刷体を区別することなく統合的に発見でき、最終的に必要とする学術情報にアクセスできる、国レベル及び各図書館レベルの環境（**統合的発見環境**）の構築に向けた検討

国レベルで整備する中央システムと各機関が運用する図書館システムが相互に連携し、電子情報資源・印刷体それぞれの管理・運用に必要なデータを統合的に利用可能とするシステム環境（つまり、現在の目録所在情報サービスの枠組みを拡張した新たな図書館システム・ネットワーク）の構築が必要となることを確認した。

<中略>

その整備にあたっては、従来のNACSIS-CAT/ILLが提供する印刷体を中心とした書誌情報の供給及び資源共有の機能を維持しつつ、各機関がより豊かな機能（電子情報資源のワークフローをサポートする機能や、電子情報資源と印刷体のワークフローが一体となったシステム、電子情報資源も含めたILL機能等）を選択的に導入できるシステム構築を目指すことが確認された。

https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2021-02/korekara_doc20190215_0.pdf

大学図書館向け学術情報システムを36年ぶりに一新 学術資料のデジタル化に対応した目録所在情報サービスを2022年から順次 運用開始

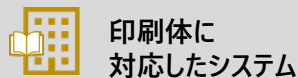
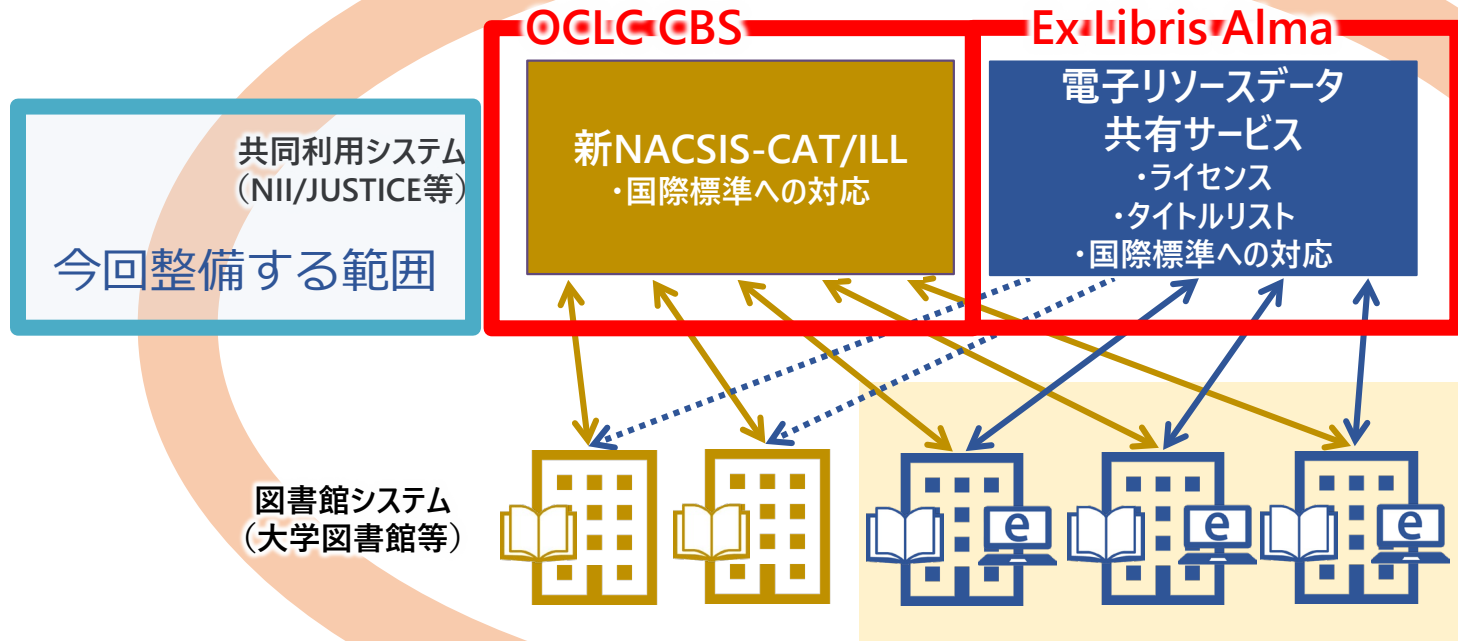
- ・ 国際標準を基本としたパッケージシステム
- ・ 新NACSIS-CAT/ILLでは、メタデータの高度化に向けて、RDA（Resource Description and Access）、日本目録規則 2018 年版のほか、米国議会図書館が主導する新たなメタデータスキーマであるBIBFRAME等の新たな国際標準への対応を可能にします。
- ・ 現在のNACSIS-CAT/ILLの機能は当面維持し、参加する約1,300機関が利用する図書館システムとの接続の継続性を確保します。

利用するシステム

- ・ 新NACSIS-CAT/ILLの基盤システムは、アメリカを本拠地とするOCLCのCBS（Controlled Bibliographic Service）を利用。
- ・ 図書館間相互貸借（ILL）サービスは株式会社シー・エム・エスが構築し、CBSとのシームレスな連携を行います。

<https://www.nii.ac.jp/news/release/2021/0617.html>

図書館システム・ネットワーク



データ連携 (CATP)

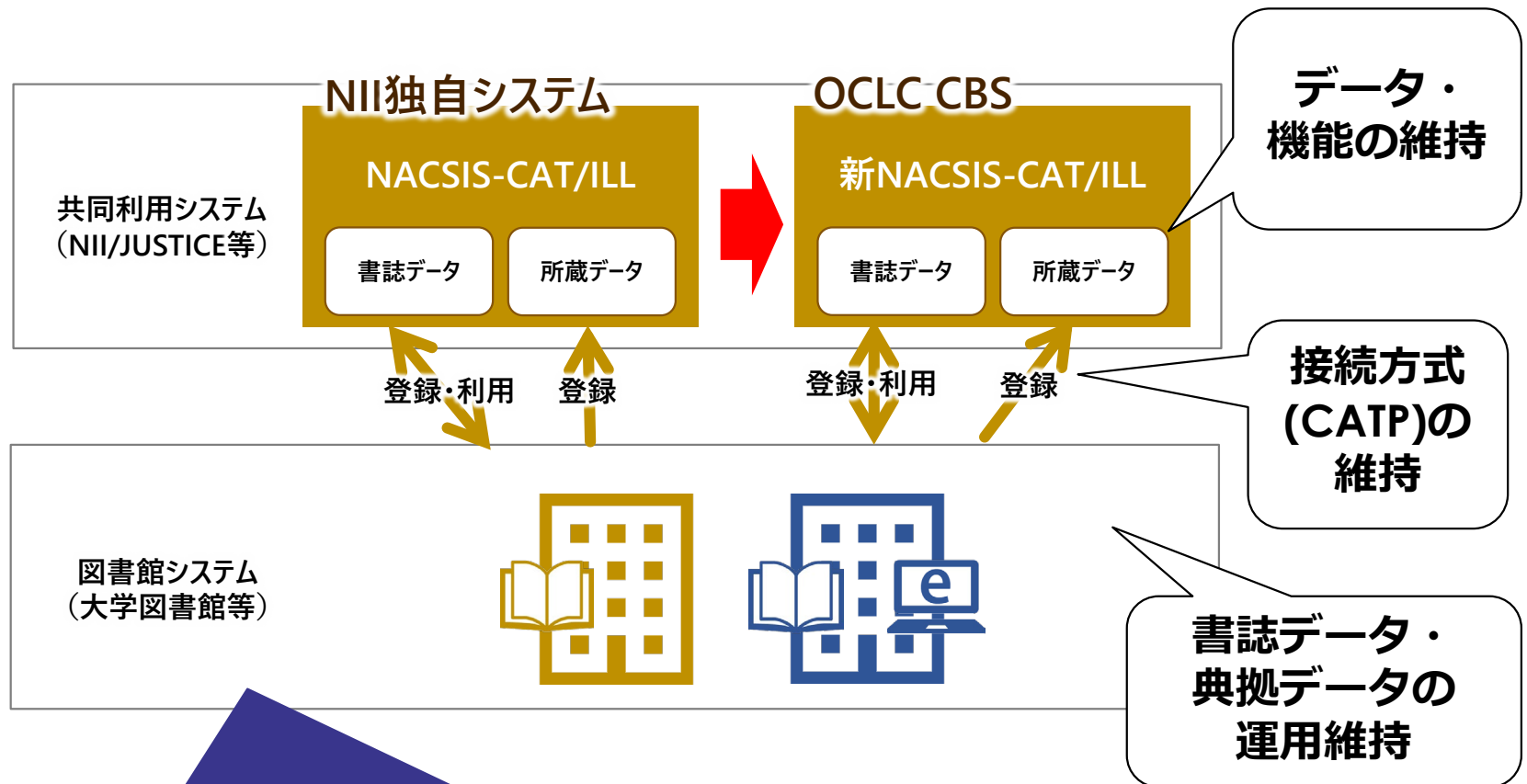


ダウンロード利用等



相互のデータ連携等

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw>



図書館システム側の変更は伴いません

検討の経緯と移行方針

新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止

電子リソースデータ共有サービス

ユーザーグループとこれからの課題



情報犬 ビットくん

新NACSIS-CAT/ILL

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill>



変更点（クライアントのためのガイドライン案）

https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/client_guidelines



参加館テスト

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/library-test>



システム停止期間

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/system-migration>



「2022年度リプレイスに向けた「新NACSIS-CAT/ILL」の変更点（2022年6月末時点）」
https://contents.nii.ac.jp/sites/default/files/korekara/2022-07/nacsis-cat_change_2023_20220715.pdf

- **CATP/1.1スキーマバージョン1以前のサポート内容変更**
 - CATP1.1 スキーマバージョン2のサポートを中心とし、より古いバージョン（CATP1.0、CATP1.1 スキーマバージョン1）へのサポート内容を以下の通り変更します。
 - 検索以外のすべての操作がエラーとなる
 - 検索した場合に上位のスキーマバージョンの値も返戻される
- **新規書誌IDのプリフィックス変更（既存はそのまま）**
 - 図書 : BA → BB → BC (CAT2020) → BD (新CAT)
 - 雑誌 : AN → AA → AB (新CAT)
- **エンコーディングをUTF8・UTF8Eに統一**
- **「SEARCH」メソッドの制約追加**
 - Database nameの指定において、CATのデータセットとILLのデータセットの混在が不可に

- ・ 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
 - ドイツ HBZからGBV (K10plus) へ変更

2022年10月31日 (月) に仕様公開
- ・ Z39.50ゲートウェイ機能のSRUゲートウェイ機能への変更

2022年10月31日 (月) からテスト機関の受付開始

＜今後、「変更点」に追加予定＞

- ・ 「Z39.50クライアント機能」のデータベース追加・変更
 - フランス BnFに加えsudocを追加 (2022年10月31日 (月) に仕様公開)
- ・ 空更新時に、現行システムでは、RNWDT・RNWFAを変更していましたが、次期システムでは変更しません。
- ・ RECONのCRTDTと RNWDTに表示される値が「19700101」の固定値になります。
- ・ 新システムのインデックス仕様変更により、現行システムと検索結果が異なる可能性があります。

<変更なし>

- 運用方針（書誌構造リンク、並立書誌等）
- PREBOOK（JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、UKMARC、GPOMARCのうち、ISBNが記入されている書誌データ）

<変更>

• RELATIONの提供様式の変更

- 新NACSIS-CATでは、登録された書誌データに対し、より高頻度でのクラスター化作業を行い、RELATION機能を向上します。高頻度のクラスター化作業に対応するため、新NACSIS-CATでは、**グループID（FID）が一意ではなくなります。**

※RELATIONの検索方法には①仮想検索（BOOKの「_ID_」、BHOLDの「_BID_」）と、②RELATIONデータセット自体の検索を行う2つの方法がありますが、①の場合は、本変更の影響を受けません。

RELATIONリストの例

https://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/od/relation_list.xlsx

FID	NCID1	NCID2	NCID3
R0000001	BB25817259	BC0138577X	

<調整中>

- システム追記、重複書誌自動統合機能、自動リンク、RELATIONの報告

検討の経緯と移行方針

新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

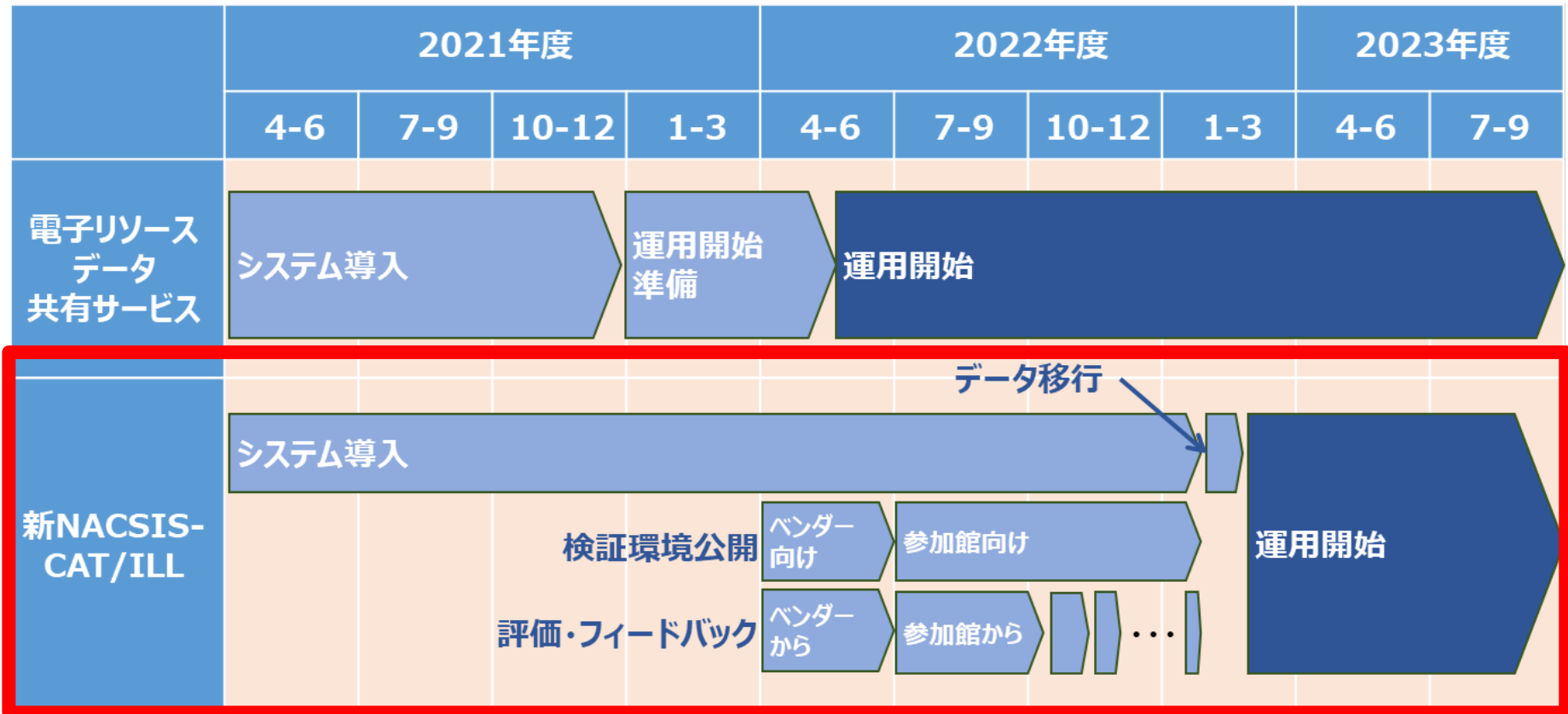
移行によるシステム停止

電子リソースデータ共有サービス

ユーザーグループとこれからの課題



新NACSIS-CAT/ILL移行（スケジュール）



2022年4月25日（月）～7月29日（金）

ベンダーテスト [終了・残件対応中]

2022年8月29日（月）～10月31日（月）

参加館テスト [終了・残件対応中]

テストにご協力くださり、誠にありがとうございます。

参加館テスト

参加館テスト

2022年8月29日（月）から、新NACSIS-CAT/ILLの参加機関ご担当者によるテスト用環境の運用を開始します。

テスト運用期間

2022年8月29日（月）～2022年10月31日（月）（予定）

（運用時間：平日9:00-17:00）

※データは2021年4月1日時点

※ILLは教育モードとなります

新NACSIS-CAT/ILLの開発状況については、「新NACSIS-CAT/ILL対応版 WebUIP」でご確認いただくことができます。

<https://webui2022.nii.ac.jp/webui/p/wu-login-cbs.html>

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/library-test>

業務用サーバ

システム名	停止期間（日本標準時（JST）による）
NACSIS-CAT	2023年1月10日（火）0:00 ～ 1月31日（火）9:00
NACSIS-ILL	2023年1月23日（月）0:00 ～ 1月31日（火）9:00

2023年1月10日（火）0:00から1月23日（月）0:00までの期間は、BOOK、RECON、PREBOOK、BHOLD、SERIAL、SHOLD、NAME、TITLE、MEMBERおよび参照データセットに対して、作成・修正・削除（INSERT、UPDATE、DELETEメソッド）ができません。ただし、検索・表示（SEARCH、SCAN、RETRIEVE、INDEXLISTメソッド）は、ご利用可能です。

2023年1月23日（月）0:00 から 1月31日（火）9:00までの期間は、検索・表示（SEARCH、SCAN、RETRIEVE、INDEXLISTメソッド）も含め、ご利用いただくことができませんのでご注意ください。

使用不可のメソッドでリクエストを行った場合、エラーが返却されます。

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/catill/system-migration>

<表：システム名／メソッド毎の停止時間>

	1/10 (火) 0:00～ 1/23 (月) 0:00	1/23 (月) 0:00～ 1/31 (火) 9:00	1/31 (火) 9:00～
NACSIS-CAT メソッド： INSERT , UPDATE , DELETE	利用不可	利用不可	利用可能
NACSIS-CAT メソッド： SEARCH , SCAN , RETRIEVE, INDEXLIST	利用可能	利用不可	利用可能
NACSIS-ILL メソッド： 全て	利用可能	利用不可	利用可能

本スケジュールは、移行リハーサルでデータ全件の移行を試行した結果に基づき調整しているため、これ以上の短縮は難しい状況です。

データを安全に移行するため、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご不便をおかけし、誠に申し訳ございません。

検索・表示のみ利用可能な期間（2023年1月10日（火）0:00から1月23日（月）0:00まで）は、**ローカルシステム内で書誌データを作成いただき、システム再開後にNACSIS-CATへ反映いただく等**の運用が可能となりますので、お役立ていただければと存じます。

NACSIS-ILL停止期間中のILLについては、CiNii Books (<https://ci.nii.ac.jp/books/>) で書誌・所蔵・参加館データをご覧いただくことができますので、**NACSIS-ILLを通さず、直接メールやFAX等で対象館へお申込みいただく等**のご検討をお願いいたします。

※**CiNii Booksのデータは移行開始時（2023年1月10日0:00より前）**となりますので、タイムラグがある点をご了承ください。

[受付館のみなさまへ]

ILLの停止期間中は、上記のILL直接依頼につきましてもご対応いただきますよう、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

教育用サーバ、テスト用サーバ

システム停止は予定しておりません。

検索専用サーバ

調整中です。

オプションサービス (個別版、所蔵レコードの一括更新等) [予定]

内容	停止期間
CAT自動登録／夜間サーバ	2023年1月10日（火）0:00 ～2023年3月31日（金）時間未定
漢字統合インデクス	なし
WebUIP	2023年1月23日（月）0:00 ～2023年1月31日（火）9:00
個別版サービス	2023年1月10日（火）0:00 ～2023年3月31日（金）時間未定
所蔵レコードの一括更新	2023年1月10日（火）0:00 ～調整中

「Z39.50ゲートウェイサーバ」は、2023年1月23日（月）0:00[予定]をもって廃止します。

後継規格である、「SRUゲートウェイサーバ」は2023年1月31日（火）より提供を開始します。

検討の経緯と移行方針

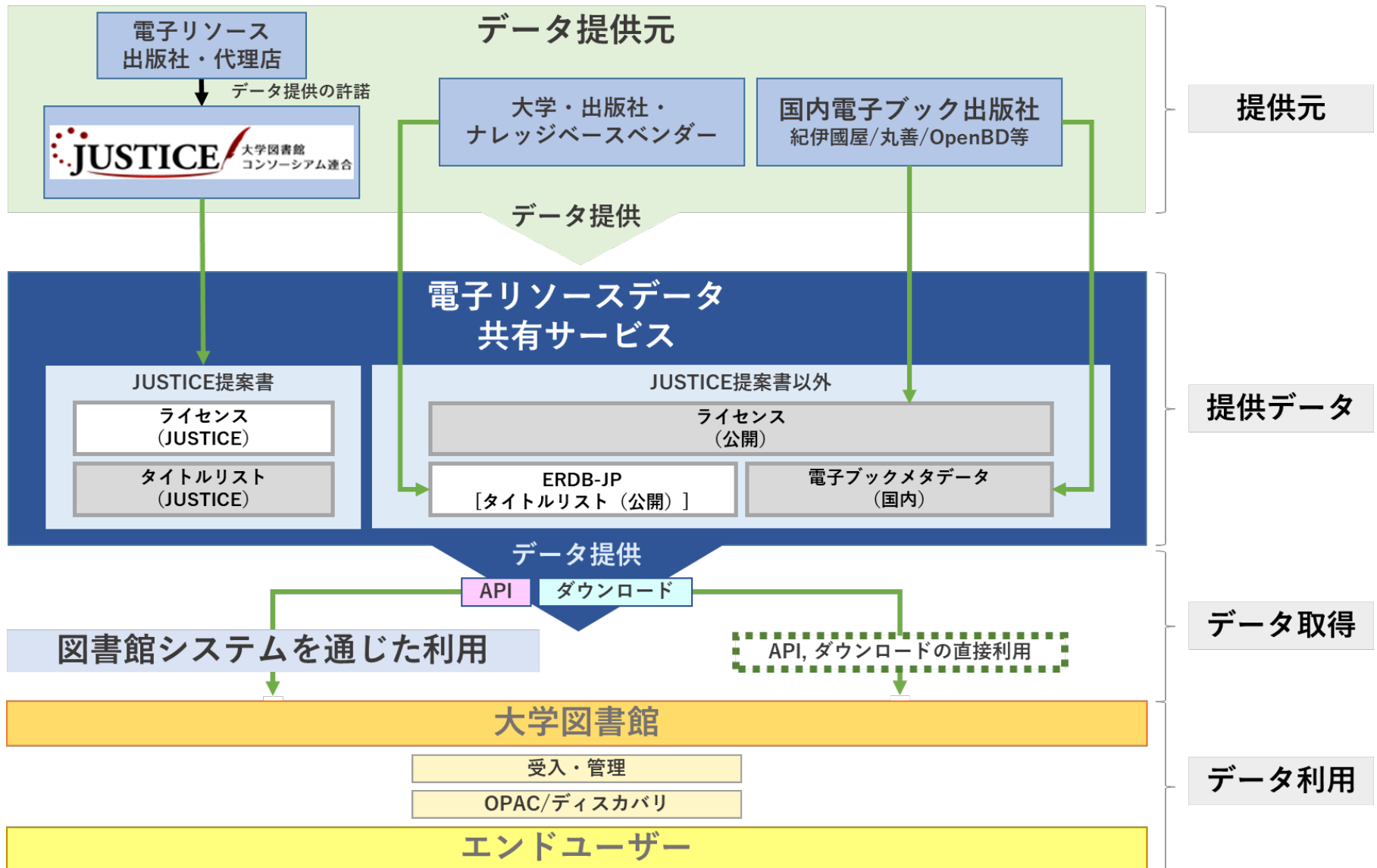
新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止

電子リソースデータ共有サービス

ユーザーグループとこれからの課題





※グレーのサービスは2022年11月現在運用準備中

- 【サービスの現状】 2022年4月1日からテスト公開中。
2022年12月頃に2023年向け提案
を本公開予定
- JUSTICE提案書の内容のうち、一部をテキストデータ
（タブ区切り）で提供
- **JUSTICE会員館限定**

JUSTICE提案書

- JUSTICE会員館限定
ページで共有
- **PDF形式**

利用条件・
管理用の項
目をデータ
提供

ライセンス情報

- ライセンス
（JUSTICE）で共有
- **txt形式**

- サービスの提供する取得方法

提供データ	ダウンロード利用	API参照
ライセンス（JUSTICE）	テスト公開済	2022年12月頃に公開
タイトルリスト（JUSTICE）	データ調整次第開始 予定	調整中

【API参照の現状】

API参照について、ベンダー向けのテスト環境を10月下旬～11月初旬に公開予定

- 電子リソースデータ共有サービス対応メーカー一覧

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/library-systems>

1. 現在の電子リソースは、出版社ごとにメタデータ・利用条件の確認方法が異なる

→ 一か所からまとめて入手可能に

2. 現在の電子リソースは、出版社ごとにメタデータ・利用条件の形式が異なり、複数出版社との契約がある場合、整理に手間がかかる

→ 同一形式のテキストデータで取得可能に

読む 道長と紫式部の贈答歌-『紫式部日記』
 勢 裕子
 ISSN: 0386-9903 , 2424-1202
 日本文学 [[ニホンブンガク]], 2011, Vol.60(9), p.52-56
 紫野図書館 4階 (P-91;"5") の所蔵を確認 >
 オンラインで利用可 >

トップ
 エクスポート
 オンラインで見...
 資料を入手する
 関連資料
 リンク

エクスポート
 BIBTEX
 RIS
 EASYBIB
 ENDNOTE
 REFWORKS
 印刷

オンラインで見る
 フルテキストの有無

サービス	フルテキストの有無
CiNii Complete	利用可 from 1952 until 2011.
J-STAGE Free	利用可 from 1952 巻: 1 号: 1 until 2014 巻: 6
TESTジャーナル	ライセンス条項 Course Pack/Course Reserve Print Note: 利用できません。 Remote Access Reference: 可。契約機関が利用者を管理できるネットワークであれば認められます。 Course Pack/Course Reserve Electronic Note: 可。非営利の教育目的である限り、利用可能です。

OPACやディスカバリーサービスで
書誌詳細ページに利用条件を表示

ライセンス条項

Course Pack/Course Reserve Print Note: 不可。印刷しての利用は認めていません。

Remote Access Reference: 可。契約機関に所属する利用者が、その機関が利用者を管理できるネットワークを介してアクセスする方法であれば認められます。

Course Pack/Course Reserve Electronic Note: 可。非営利の教育目的である限り、利用可能です。

利用条件を隠す



※検討中のイメージ図です。

各大学の様々な管理方法から、電子リソースデータ共有サービスで、

- どのような機能が必要か
- どのようなデータ項目やデータ種別が必要か
- どのような活用方法が考えられるか など

ぜひご意見をお寄せください。

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/e-resources/feedback>

(JUSTICE)	<h3>フィードバックのアクセス先</h3> <p>フィードバックは、以下へお寄せいただければと存じます。 ※組織としてお取りまとめいただいても、個人としてお寄せいただいても構いません。</p>
▶ FAQ	
▶ お問い合わせ	

フィードバックフォーム

検討の経緯と移行方針

新NACSIS-CAT/ILLのおもな変更点

移行によるシステム停止

電子リソースデータ共有サービス

ユーザーグループとこれからの課題



図書館総合展 これからの学術情報システム構築検討委員会フォーラム
「みんなで考えよう、これからの学術情報システムで実現を目指すこと」
～これからのメタデータの在り方とそれを支えるコミュニティ～ 発表資料よりご紹介

ユーザーグループとは

- 現在の目録所在情報サービス（NACSIS-CAT/ILL）を中心とした図書館システム・ネットワークの利用機関とその図書館員等が自由に情報や意見を交換できる場です。



- 2022年10月25日（火）～2022年度末 試行
- 2023年度より 実施

- SNS（Discord）での情報交換・意見交換
- オンラインイベント（ワークショップ・講習会等）
- ユーザーグループ発議で作業部会を発足

ユーザーグループ

<https://contents.nii.ac.jp/korekara/libsysnw/usergroup>

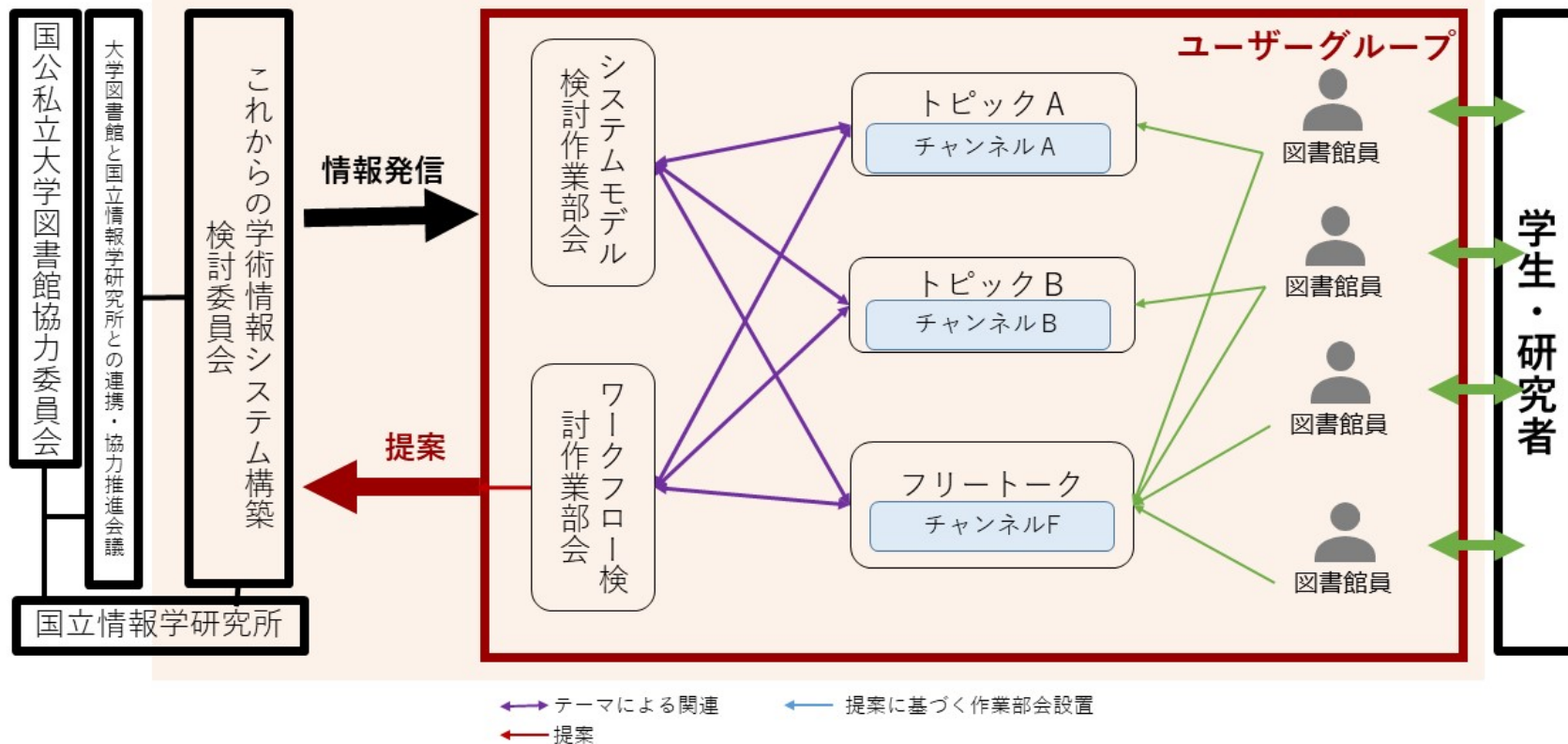


- ユーザーグループの最初の試みとして、利用機関とその図書館員等が自由に情報や意見を交換できるユーザーグループSNSを開設
- 具体的には、Discord (<https://discord.com/>) を利用し、「これから委員会ユーザーグループ（仮）」サーバを立ち上げ
 - ✓ Discordの利用は無償です。
 - ✓ 図書館システム・ネットワーク（現行NACSIS-CAT/ILL参加館等）の利用機関の図書館員等の職員の参加（実名）に限ります。
 - ✓ 参加・発言は、各機関の情報セキュリティポリシーに従ってください。

- NCR2018の洋書適用について
- 共同調達・運用の実現に向けた図書館システムガイドライン作成
- フリートーク

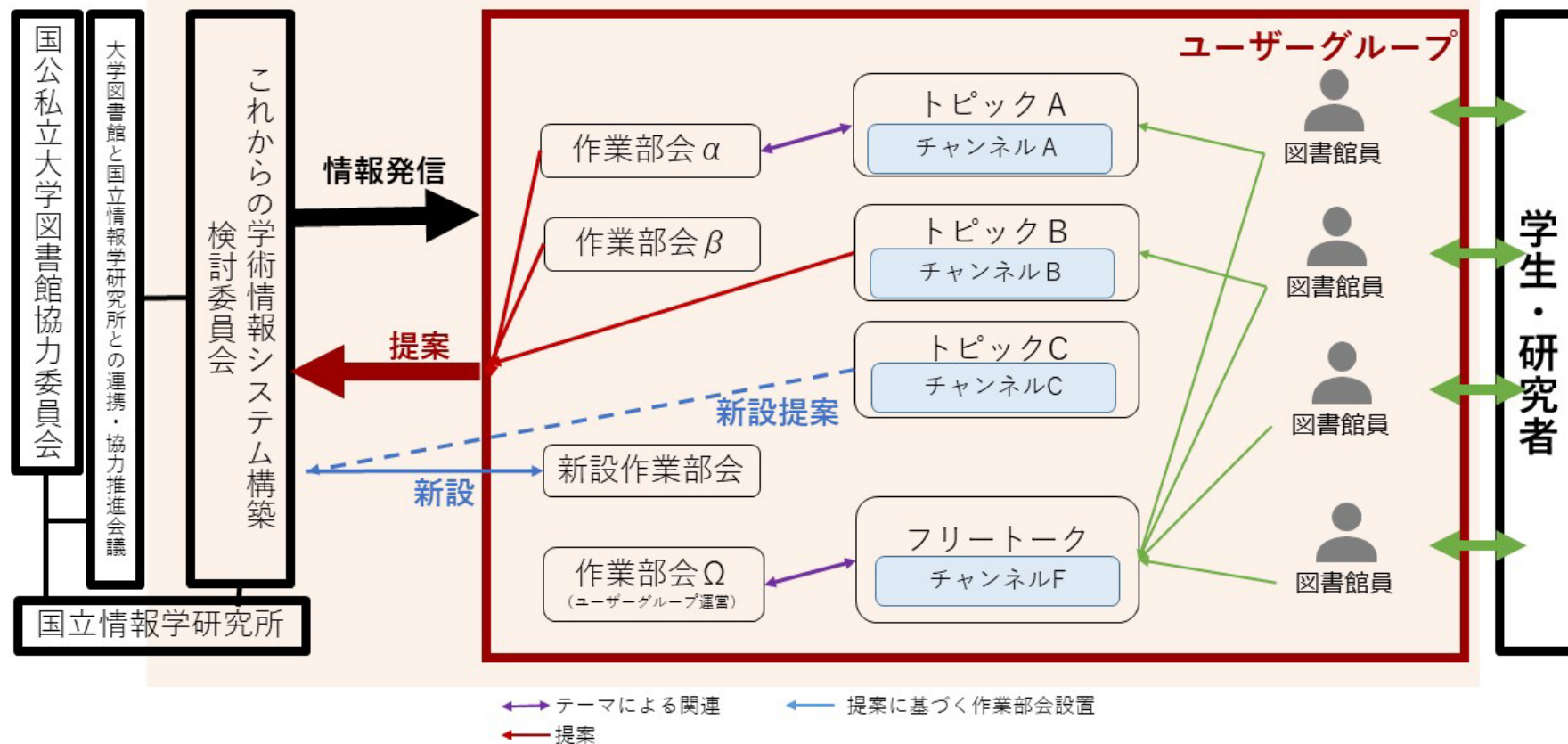
【試行中】

図書館システム・ネットワーク



【2023.4～】

図書館システム・ネットワーク



If you can dream it, you can do it.

- Walt Disney

Thank you!

